

10.21

★改憲阻止! 安倍たおせ!

★韓国民主労総ゼネスト連帯!
ストライキで朝鮮戦争とめよう!

★京大反戦ストへの
無期停学処分撤回!

国際

国際反戦デーとは?

1966年、世界でベトナム戦争に対する反戦闘争が爆発する中、日本の労働組合のナショナルセンターであった総評（日本労働組合総評議会）が、学徒出陣の壮行会が行われた1943年10月21日に合わせてベトナム反戦ゼネラルストライキを提起し、全世界に呼びかけたのが「国際反戦デー」の始まり。約211万人がストライキに参加し、「世界の労働組合で初めてのベトナム反戦スト」となった。

反戦デー

in 京都

【10月21日(金)京都行動 要項】

●京都大学キャンパス集会&デモ
11:50～ 京都大学時計台前にて
集会後、京大キャンパス一周デモ

●京都市内デモ
18:30 三条大橋下集合

京阪電車「三条駅」、地下鉄「三条京阪駅」、
市バス「河原町三条」下車徒歩3分

全日本学生自治会総連合 / 京都大学全学自治会同学会中央執行委員会

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
www.zengakuren.jp/wp/



Tel 080-1486-5446 Fax 075-320-2538
dougakukai.kyoto@gmail.com
@dgkec 京大同学会執行委員会



改憲阻止一・安倍打倒！ 世界戦争を絶対に止めよう

今この瞬間もシリアをはじめ全世界で戦争が拡大しています。とりわけ日本の私たちにとって最大の課題は、朝鮮半島をめぐる戦争を絶対に止めることです。金正恩体制を崩壊させるための軍事的圧力として史上最大規模の米韓合同軍事演習が行われ、北朝鮮は核実験やミサイル発射で対抗しています。安倍首相は、昨年の安保関連法＝戦争法の強行採決につづき、「任期中の改憲」を公言して戦争への道突き進んでいます。朝鮮半島で戦争が起きれば、日米中露がからむ大



戦火の中を生きるシリアの人々

同士の世界戦争・核戦争に発展することは不可避です。

かつての世界大戦から近年のイラク・アフガン戦争に至るまで、「自衛」の論理は常に戦争の本質を覆い隠し民衆を動員するための支配者の方便に過ぎませんでした。戦争の本質とは、多くの民衆の犠牲の上に権力者が巨万の富を築くものです。あらゆる戦争に反対を貫くことこそ戦争を現実にも止める唯一の立場です。学生・労働者の国境を越えた連帯で世界から戦争をなくそう！ 改憲を阻止し安倍政権を倒そう！

京都大4学生の処分撤回に向け年内3万筆署名実現を

もう一つの歴史の教訓は、戦争は国内で戦争反対の声を叩き潰すことによって可能になるということです。あの悪名高き治安維持法の最初の国内適用は戦争に反対する京都大学の学生に対するものでした。そして今日、戦争反対のストライキを昨年10月に実現した京都大学の学生4名に対して、無期停学処分がかけられています。京大生への処分を撤回させることは戦争を止める行動そのものです。10月3日には処分撤回を掲げた京大集会を大結集で打ち抜きました。年内3万筆を目指して処分撤回を求める大署名運動を共に実現しましょう！



10・3京大集会&学内デモ

* 京大生と反戦運動 ～学生の行動で戦争は止められる～

日本の戦後史とは、民衆の行動が幾度も戦争を止めてきた歴史だ。1967年10月8日、全学連は日本のベトナム戦争への協力を拡大するための佐藤栄作首相（当時）の南ベトナム訪問を阻止する闘争を展開。その渦中で警察権力によって京大生・山崎博昭くんが虐殺される。京大生は、その怒りと悲しみをも契機にしながら反戦運動を爆発させ、68年10.21国際反戦デーでは教養部で京大初のバリケード＝ストライキを打ち抜いた。世界でも米学生の国防省ペンタゴン突入闘争など強力な反戦運動が叩きつけられ、学生の行動はベトナム戦争を終結に導いた。



国際連帯ーストライキこそ社会を変える力

韓国では組合員80万人を擁する民主労総という労働組合の全国組織が「労働法制改悪・朝鮮戦争阻止」「パククネ政権打倒」を掲げる全国規模でのストライキで社会を揺るがしています。その民主労総と日本の労働組合の呼びかけで、来たる11月6日には全世界の労働者・労働組合が一

堂に会する国際共同行動が取り込まれようとしています。

世界の労働者を一つに結び付けようとしている力は、目の前の現実・敵に対して日常の現場、職場や学園で行動に立ち上がることです。10.21国際反戦デー、全ての学生・労働者は学友や職場の仲間と共にデモに立ち上がりましょう！

韓国民主労総、9月ゼネラル＝ストライキには18万人が参加

